

「健康経営」のキホン 人への健康投資

将来的な収益性を高める投資「健康経営」

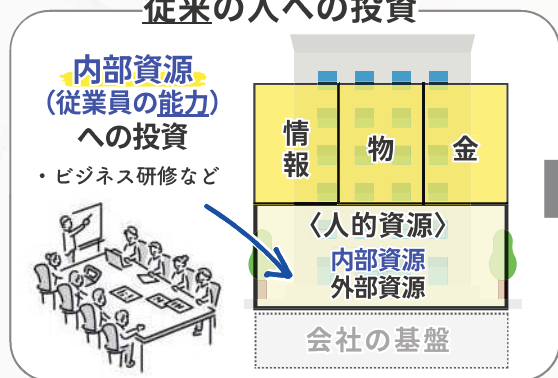
「健康経営」とは、従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践することです。企業理念に基づき、従業員等への健康投資を行うことは、活力向上や生産性の向上、組織の活性化をもたらす、結果的に業績や株価向上につながると期待されています。

※「健康経営」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

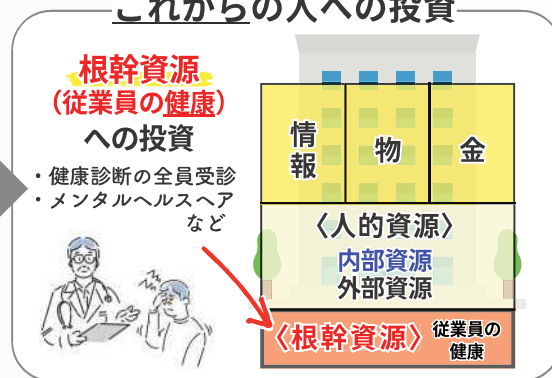
「内部資源（教育訓練における能力向上）」から「根幹資源（従業員の健康）」へ 健康経営における3つの投資

これまで会社は、若く健康な従業員を多く雇用できたため、教育訓練を行い従業員の能力（内部資源）を高めることに投資してきましたが、労働力人口の高齢化で病気などによる仕事への悪影響が増えることが予想されます。従業員が「健康」でないと、従業員の能力や人脈などを十分に活用することはできません。そのため、これからの会社経営には「内部資源」に投資していたお金を、会社の基盤である「根幹資源」（従業員の健康）に投資する、という考えが求められています。この「根幹資源」（従業員の健康）健康経営を実践するための考え方には、①時間 ②空間投資 ③利益投資 という **3つの投資** があります。

従来の人への投資



これからの人への投資



① 時間投資

労働時間内に健康経営の啓発の時間を設ける



【経営陣】

- 健康経営の計画を立て、従業員に健康経営方針を宣言する。
- 労働時間内の健康教育研修を計画。

【従業員】

- 健康教育を受ける。
- 必要な健康診断を確実に受診。

② 空間投資

社員食堂や休憩室など、事業場内の場所を快適にする



- 適正な照明・机のレイアウト
- 整理・整頓・清掃の3Sを心掛ける
- 禁煙室を休憩室に
- 座りっぱなし対策にスタンディングデスクを設置

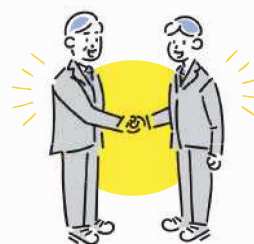
③ 利益投資

会社の収益の一部を健康管理施策に投入する



- 感染症等の予防接種の補助
- ヘルシー弁当(惣菜・商品)の導入補助
- 健康機器の購入・スポーツジム費の補助
- 食・運動・睡眠・メンタル等専門家の活用

会社と従業員の両者に利益！



【参考】
経済産業省HP

健康経営
オフィスレポート

オフィス環境においてどのような行動が従業員の健康を保持・増進させるのかについて実際の会社の具体的な取組を紹介。